



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和7年度

筑後川中流国営施設機能保全事業  
完工誌作成業務

# 積算書

(当初)

九州農政局  
北部九州土地改良調査管理事務所













事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業

業務名 完工誌作成業務

業務別業務名:完工誌作成業務

名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
直接人件費				6,352,000	
・1.業務準備	1.000	式		2,360,000	
・・・1.業務準備	1.000	式		2,360,000	
・・・1-(1)現地調査	1.000	式	875,000	875,000	1式当たり
S63007 1-(1)現地調査	1.000	式	875,000	875,000	歩A・単A S単 7号
合 計				875,000	
・・・1-(2)資料収集及び整理	1.000	式	1,485,000	1,485,000	1式当たり
S63003 1-(2)資料収集及び整理	1.000	式	1,485,300	1,485,300	歩A・単A S単 2号
合 計				1,485,300	
・2.企画構成の立案及び完工誌編纂	1.000	式		2,737,000	
・・・2.企画構成の立案及び完工誌編纂	1.000	式		2,737,000	
・・・2-(1)構成及び目次案の検討	1.000	式	1,049,000	1,049,000	1式当たり
S63003 2-(1)構成及び目次案の検討	1.000	式	1,049,400	1,049,400	歩A・単A S単 3号
合 計				1,049,400	
・・・2-(2)完工誌編纂	1.000	式	1,688,000	1,688,000	1式当たり
S63003 2-(2)完工誌編纂	1.000	式	1,687,800	1,687,800	歩A・単A S単 4号
合 計				1,687,800	
・3.広報資料の作成	1.000	式		415,000	
・・・3.広報資料の作成	1.000	式		415,000	
・・・3.広報資料の作成	1.000	式	415,000	415,000	1式当たり
S63003 3.広報資料の作成	1.000	式	414,800	414,800	歩A・単A S単 5号
合 計				414,800	
・4.点検取りまとめ及び報告書の作成	1.000	式		436,000	
・・・4.点検取りまとめ及び報告書の作成	1.000	式		436,000	
・・・4.点検取りまとめ及び報告書の作成	1.000	式	436,000	436,000	1式当たり
S63003 4.点検取りまとめ及び報告書の作成	1.000	式	435,900	435,900	歩A・単A S単 6号
合 計				435,900	
・打合せ	1.000	式		404,000	
・・・打合せ	1.000	式		404,000	
・・・打合せ	2.000	回	109,000	218,000	1回当たり
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.36日	1.000	回	108,790	108,790	歩A・単A S単 8号
合 計				108,790	
・・・打合せ	2.000	回	93,000	186,000	1回当たり
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.36日	1.000	回	92,966	92,966	歩A・単A S単 9号
合 計				92,966	





事業名	筑後川中流国営施設機能保全事業
業務名	完工誌作成業務

業務別業務名:完工誌作成業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
S02115	技術員		人		1,000	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04007 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04007	技術員	1.000	人	36,100	36,100	
	合計				36,100	算出数量 1.000 人
	単価				36,100	
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	1-(2)資料収集及び整理		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 3.00人 6.00人 8.00人 8.00人 6.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師(A)	6.000	人	59,600	357,600	
R04005	技師(B)	8.000	人	48,500	388,000	
R04006	技師(C)	8.000	人	40,300	322,400	
R04007	技術員	6.000	人	36,100	216,600	
	合計				1,485,300	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,485,300	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	2-(1)構成及び目次案の検討		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 2.00人 4.00人 6.00人 6.00人 4.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師(A)	4.000	人	59,600	238,400	
R04005	技師(B)	6.000	人	48,500	291,000	
R04006	技師(C)	6.000	人	40,300	241,800	
R04007	技術員	4.000	人	36,100	144,400	
	合計				1,049,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,049,400	
	*** S単 - 4号 ***					
S63003	2-(2)完工誌編纂		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名	筑後川中流国営施設機能保全事業
業務名	完工誌作成業務

業務別業務名:完工誌作成業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	3)主任技師の人数	4.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	8.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	6.00人				
R04003	主任技師					
		4.000	人	66,900	267,600	
R04004	技師(A)					
		8.000	人	59,600	476,800	
R04005	技師(B)					
		10.000	人	48,500	485,000	
R04006	技師(C)					
		6.000	人	40,300	241,800	
R04007	技術員					
		6.000	人	36,100	216,600	
	合計				1,687,800	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,687,800	
	*** S単 - 5号 ***					
S63003	3. 広報資料の作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師(A)					
		1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)					
		4.000	人	48,500	194,000	
R04006	技師(C)					
		4.000	人	40,300	161,200	
	合計				414,800	算出数量 1.000 式
	単価		式		414,800	
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	4. 点検取りまとめ及び報告書の作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)					
		2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)					
		2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)					
		2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員					
		2.000	人	36,100	72,200	
	合計				435,900	算出数量 1.000 式
	単価		式		435,900	
	*** S単 - 7号 ***					
S63007	1 - (1) 現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名	筑後川中流国営施設機能保全事業
業務名	完工誌作成業務

業務別業務名:完工誌作成業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	3)主任技師の人数	5.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	5.000	人	66,900	334,500	
R04004	技師(A) 外業	5.000	人	59,600	298,000	
R04005	技師(B) 外業	5.000	人	48,500	242,500	
	合計				875,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		875,000	
	*** S単 - 8号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工程,着事前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.36日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工程	一般工程		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ	着事前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.360日				
R04003	主任技師	0.860	人	66,900	57,534	
R04004	技師(A)	0.860	人	59,600	51,256	
	合計				108,790	算出数量 1.000 回
	単価		回		108,790	
	*** S単 - 9号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工程,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.36日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工程	一般工程		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ	中間		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.360日				
R04004	技師(A)	0.860	人	59,600	51,256	
R04005	技師(B)	0.860	人	48,500	41,710	
	合計				92,966	算出数量 1.000 回
	単価		回		92,966	
	*** S単 - 10号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工程,着事前・最終,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,2時間,100km L(100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工程	一般工程		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ内容	着事前・最終		深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.36日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	ライトバン				

事業名	筑後川中流国営施設機能保全事業
業務名	完工誌作成業務

業務別業務名:完工誌作成業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	13)高速道路往復料金(税別)	3,580円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分	2時間				
	20)往復移動距離区分	100km L(100km以上)				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	3,580	3,580	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,650	1,650	
P34001	ガソリン					
	JIS2号 レギュラースタンド	5.400	L	166	896	
	合計				6,126	算出数量 1.000 回
	単価		回		6,126	
	*** S単 - 11号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,中間,通勤により打合せ,...ライトバン,1日,2時間,100km L(100km以上)					
						時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
						制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	1)設計工種	一般工種				
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.36日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	ライトバン				
	13)高速道路往復料金(税別)	3,580円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分	2時間				
	20)往復移動距離区分	100km L(100km以上)				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	3,580	3,580	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,650	1,650	
P34001	ガソリン					
	JIS2号 レギュラースタンド	5.400	L	166	896	
	合計				6,126	算出数量 1.000 回
	単価		回		6,126	
	*** S単 - 12号 ***					
S63018	旅費交通費(設計外業日帰用)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,5日,2時間					
						時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
						制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	1)交通機関区分	ライトバン				
	2)高速道路往復料金(税別)	3,580円				
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	4)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数の入力	5日				
	8)時間区分	2時間				
	9)設計用技師長外業日数	0.000日				
	10)設計用主任技師外業日数	5.000日				
	11)設計用技師A外業日数	5.000日				
	12)設計用技師B外業日数	5.000日				
	13)設計用技師C外業日数	0.000日				
	14)設計用技術員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	5.000	式	3,580	17,900	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	5.000	日	1,650	8,250	
P34001	ガソリン					
	JIS2号 レギュラースタンド	27.000	L	166	4,482	
	合計				30,632	算出数量 1.000 式

事業名	筑後川中流国営施設機能保全事業
業務名	完工誌作成業務

業務別業務名:完工誌作成業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		式		30,632	
	*** S単 - 13号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1,000	歩A 式 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1. A - 4,500,5cm,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格区分	A - 4		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)枚数区分(枚)	500		深夜時間:0.0		
	4)厚さ区分	5cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43422	報告書焼付代(コピー) A - 4以下 500枚	1.000	部	6,750	6,750	
P43542	簡易加除式ファイル A 4縦型幅5cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	591	591	
P43602	C D - R C D - R(記録面色素フタロシアン)700MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				7,341	算出数量 1,000 式
	単 価		式		7,341	

令和7年度筑後川中流国営施設機能保全事業  
完工誌作成業務

特別仕様書

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

## 第1章 総 則

### 第1-1条 (適用範囲)

令和7年度筑後川中流国営施設機能保全事業 完工誌作成業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

### 第1-2条 (目 的)

本業務は、筑後川中流国営施設機能保全事業の完了に際し、地域の農業や歴史、事業発足の経緯及び本事業の実施内容等について、今後の土地改良事業推進の参考とするための資料を作成するものである。

### 第1-3条 (場 所)

本業務位置は、福岡県うきは市地内他で、別添位置図に示すとおりである。

### 第1-4条 (土地への立入り等)

作業実施のための土地への立入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

### 第1-5条 ((履行確実性評価の達成状況の確認)

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- ① 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- ② 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- ③ その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- ④ 業務成果品のミス、不備 等

### 第1-6条 (一般事項)

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 受注者は、作業実施の順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は、常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提供を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

### 第1-7条 (管理技術者)

- (1) 管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木、農業農村工学
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

博士	当該業務に関連する学術部門	
----	---------------	--

#### 第 1-8 条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第 1-8 条によるものとする。

#### 第 1-9 条（配置技術者の確認）

共通仕様書第 1-11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1-12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

#### 第 1-10 条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第 1-37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

### 第 2 章 作業条件

#### 第 2-1 条（貸与資料）

貸与資料は、次のとおりである。

番号	貸 与 資 料	数量
1	国営筑後川中流土地改良事業 事業誌	1 式
2	国営筑後川中流土地改良事業計画書、事業成績書（暫定版）、施設管理図（暫定版）	1 式
3	その他業務実施上必要となる資料	1 式

また、上記以外に必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

#### 第 2-2 条（貸与資料の取扱い）

第 2-1 条に示す貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

### 第 3 章 作業内容

#### 第 3-1 条（作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は別表 1 「作業項目内訳表」のとおりである。

- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 1. 業務準備            | 1 式 |
| 2. 企画構成の立案及び完工誌編纂  | 1 式 |
| 3. 広報資料の作成         | 1 式 |
| 4. 点検取りまとめ及び報告書の作成 | 1 式 |

### 第 3-2 条（設計作業の留意点）

設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第 2-1 条貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。

### 第 3-3 条（業務写真における黒板情報の電子化）

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（1）から（4）によりこれを実施するものとする。

#### (1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト (CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」) に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

#### (2) 機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

#### (3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、(1) の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記 1) に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- 3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

#### (4) 写真の納品

受注者は、(3) に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。なお、受注者は納品時に URL ([https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index\\_digital.html](https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

#### (5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

## 第 4 章 打合せ

### 第 4-1 条（打合せ）

共通仕様書第 1-10 条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回と最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

- 初 回 設計作業着手の段階
- 第 2 回 中間打合せ（企画構成及び目次案作成段階）
- 第 3 回 中間打合せ（完工誌原稿作成段階）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当者は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、

受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

## 第5章 成果物

### 第5-1条 (成果物)

成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体 (CD-R等) 正副2部
- (2) 成果物の出力1部 (電子媒体の出力、市販ファイル表紙)

### 第5-2条 (開示用成果物の作成及び提出)

第5-1条に記載している成果物 (PDFファイル) に含まれる、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

- (1) 開示用成果物の電子媒体 (CD-R等) 1部

### 第5-3条 (成果物の提出先)

成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県うきは市浮羽町朝田582-1  
九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所筑後川中流支所

## 第6章 契約変更

### 第6-1条 (契約変更)

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (2) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (3) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (4) 履行期間の変更が生じた場合。
- (5) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (6) その他

## 第7章 定めなき事項

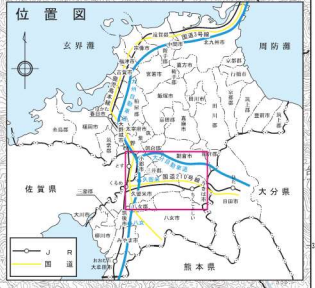
### 第7-1条 (定めなき事項)

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

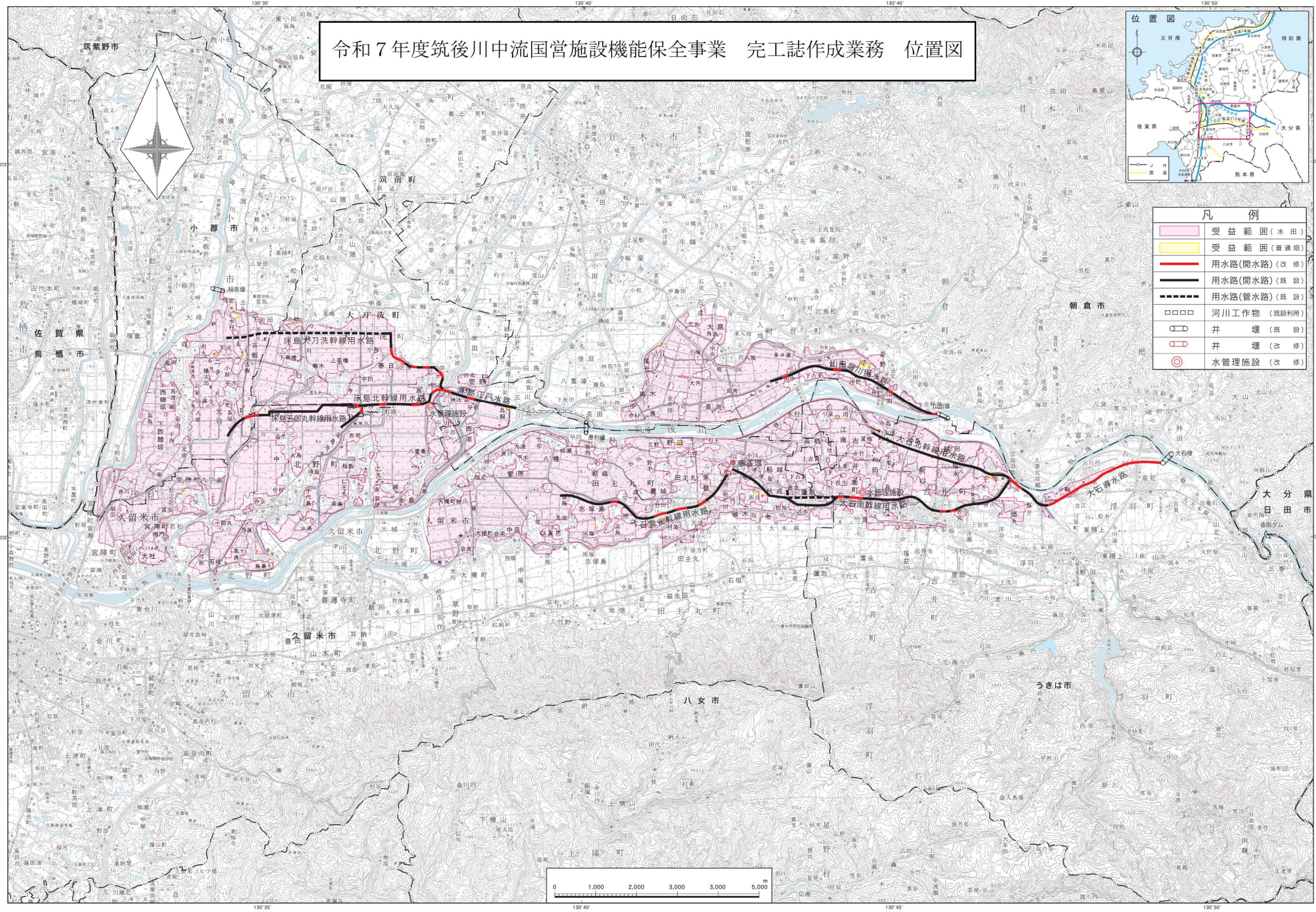
別表1【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	作業実施欄	備考
1. 業務準備			
(1) 現地調査	本事業で造成された施設や地域農業の現況、地域の歴史等の把握のため現地調査を行う。	○	
(2) 資料収集及び整理	完工誌作成の実施に当たり、貸与資料、関係土地改良区、市町村の施策、歴史、統計情報等の資料収集及び整理を行う。また、これらの資料に基づいて、事業着工から事業完了までの整備状況等を整理する。	○	
2. 企画構成の立案及び完工誌編纂			
(1) 構成及び目次案の検討	上記1により整理した内容を基に、完工誌の構成及び目次案の検討を行う。	○	
(2) 完工誌編纂	上記で作成した目次案に基づき、完工誌の原稿を作成する。(完工誌については100ページ程度を想定している。)	○	
3. 広報資料の作成	上記1～2により整理した内容を基に、PR用(一般、児童)のリーフレットを作成する。(A3、2枚を想定している。受渡しは、データとする。)	○	
4. 点検取りまとめ及び報告書の作成	上記1～2の各項目を取りまとめ報告書を作成する。	○	

# 令和7年度筑後川中流国営施設機能保全事業 完工誌作成業務 位置図



凡 例	
	受益範囲(水田)
	受益範囲(普通畑)
	用水路(開水路)(改修)
	用水路(開水路)(既設)
	用水路(管水路)(既設)
	河川工作物(既設利用)
	井堰(既設)
	井堰(改修)
	水管埋施設(改修)



この地図は、国土地理院長の承認を得て、河川利用の敷地地図50000(地図部類)を複製したものである。(保証番号 平288補、第317号)  
 複製を許す作成した複製品を第三者等に複製する場合は、国土地理院長の承認を得なければならない。

※地図上のピンク着色部は、当事業の受益地である。